

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/理学療法学科】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
理学療法演習Ⅲ		必修	1	3	前期
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
大塚 篤也	D318	a.otsuka		火曜日 15:00-16:00	
授業の目的・概要	理学療法を実施するにあたり、理学療法の一連の過程を理解することが大切である。そのため理学療法演習Ⅲでは、症例から得られた情報の統合と解釈、問題点抽出、目標設定、治療プログラムの立案方法を学び、理学療法の系統的プロセス(評価から治療)を理解することを目的とする。理学療法評価・治療の系統的プロセスについて講義を行い、その後提示した症例に対して、治療プログラムの立案、効果判定まで行う。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input checked="" type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・レポート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> その他 ( )				
学習上の助言	授業内容に関する質問は、授業中及びオフィスアワーの時間に受け付けている。積極的に質問して疑問を解決し、理解を深めて欲しい				
教科書	PT 症例レポート赤ペン添削 ビフォー&アフター/著:相澤純也、美崎定也、石黒幸治/羊土社/2016				
参考書	症例動画でわかる理学療法臨床推論 統合と解釈実践テキスト 豊田輝 他 羊土社 2021				
外部教材					
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	基本的な理学療法の系統的プロセス(評価から治療)を説明できる。		PT (2)、PT (3)、PT (5)、PT (6)		
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	オリエンテーション(理学療法評価・治療の概要を学習する)	講義・演習	理学療法評価・治療の概要、一連の過程を教科書、配布資料で確認する。	2	
2	理学療法評価・治療の一連の過程を学習する。	講義・演習			
3	「系統的プロセス①」統合と解釈、問題点の抽出、目標設定、考察の概要を学習する。	講義・演習	理学療法の系統的プロセスについて、教科書や配布資料で確認する	4	
4	「系統的プロセス②」統合と解釈、問題点の抽出、目標設定、考察の概要を学習する。	講義・演習			
5	「系統的プロセス③」症例提示(大腿骨骨折)統合と解釈、問題点の抽出の方法を学習する。	講義・演習			
6	「系統的プロセス④」症例提示(大腿骨骨折)目標設定、考察の方法、レジюмеに書き方を学習する。	講義・演習			
7	「治療プログラム①」1.内容、2.効果、3.トレーニングの原則(FITT:運動強度、頻度、持続時間、タイプ)、4.リスク管理(救急措置等も含む)の概要を学習する。	講義・演習	治療プログラムについて教科書、配布資料で確認する。	1	
8	理学療法評価・治療の記録、報告方法を学習する。	講義・演習	理学療法評価・治療の記録、報告方法を教科書、配布資料で確認する。	1	
9	ペーパーシミュレーション症例提示(脳卒中)統合と解釈を学習する。	講義・演習	症例に対する統合と解釈、問題点の抽出、目標設定、治療プログラム、リスク管理、考察をレポートにまとめる。	4	
10	ペーパーシミュレーション症例提示(脳卒中)問題点の抽出、目標設定を学習する。	講義・演習			
11	ペーパーシミュレーション症例提示(脳卒中)治療プログラム、リスク管理、考察を学習する。	講義・演習			
12	ペーパーシミュレーション症例提示(脳卒中)統合と解釈、問題点の抽出、目標設定、治療プログラム、リスク管理、考察をまとめる	講義・演習			
13	「治療プログラム②」治療の実施方法を学習する。	講義・演習	治療の実施および設定方法について教科書、参考書、配布資料で確認する。	2	
14	「治療プログラム③」治療の設定方法を学習する。	講義・演習			
15	症例(脳卒中)に対する統合と解釈、問題点の抽出、目標設定、考察を復習する。	講義・演習	症例に対する統合と解釈、問題点の抽出、目標設定、考察のレポートを再確認する。	1	
試	定期試験 達成度評価、評価ポイントを参照				

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/理学療法学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計	
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他		
		80	20	0	0	0	100	
総合力指標	知識・技術力	80	0	0	0	0	80	
	思考・推論・創造する力	0	10	0	0	0	10	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0	
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0	
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0	
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0	
問題を発見・解決する力		0	10	0	0	0	10	
評価のポイント						フィードバックの方法		
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点						
試験	①	✓	学期末に定期試験を実施して評価をする。教科書ならびに配布プリントから出題し、理解度を問う（筆記試験、80%）。				必要に応じて解答を提示し、解説を行う。	
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
レポート	①	✓	提示症例に対して治療プログラムの立案、効果判定まで行い、理学療法の系統的プロセスの理解度を問う。レポートはレジュメ形式とし、まとめ方は講義時に提示する（20%）。				15 回目に、統合と解釈、問題点の抽出、目標設定、考察について模範レポートを提示しながら解説していく。	
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
成果発表	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
その他	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
備 考								
他 担 当 教 員								
教員の実務経験	全ての教員が理学療法士として5年以上の臨床経験を有する。							
実践的授業の内容	ペーパーシュミュレーションにて症例提示をする。また担当教員が実際に担当した症例を通して学んだ治療の視点・工夫などを提示する。							
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> <li>第9回～第12回の講義ではPCを使用する。</li> <li>授業時のフィードバック、意見交換は授業時間内およびオフィスアワー内に実施する。</li> <li>受講態度に問題がある場合、注意しても守れない学生は退室してもらう。</li> <li>大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を厳守すること。</li> <li>問題がある場合は対面授業の参加は認めない。</li> <li>シラバスの内容は、今後の新型コロナウイルス感染症の状況と授業の進行状況等を考慮して一部修正することがある。</li> </ul>							